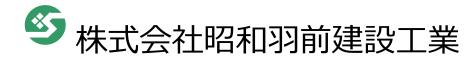
環境報告書

2021 年度

(2021年4月1日~2022年2月28日)



発行日 2022 年 3 月 5 日



1. 組織の概要

(1) 事業所名:株式会社昭和羽前建設工業

(2) 代表者氏名:代表取締役 甘木 英寿

(3) 資 本 金: 20,000,000 円

(4) 沿 革:昭和44年10月 創業 解体工事を主として活動

昭和51年12月 羽前産業より株式会社昭和羽前建設工業に社名変更

平成 15 年 10 月 産業廃棄物処分業許可取得

平成 15 年 10 月 新港リサイクルセンター開業

平成27年7月 みちのくEMS取得(本社・新港リサイクルセンター)

平成 29 年 12 月 仙台新港エコタウン 24 第二工場開業

第二工場開業に伴い、新港リサイクルセンターを仙台新港エコタウン 24

第一工場に改名、各事業所で提供する業務の見直しを実施

(5) 事業の規模

事業所名	本社	仙台新港エコタウン 24	仙台新港エコタウン 24			
		第一工場	第二工場			
適用規格	みちのくEMS3版	みちのくEMS優良産廃処理業者用規格 初版				
所在地	仙台市青葉区昭和町	仙台市宮城野区港	仙台市宮城野区仙台港北			
7/1114B	二丁目 27	三丁目8番9	二丁目 10 番 17			
	建設業、土木業					
事業内容	産業廃棄物·特別管理産業廃	産業廃棄物中間処理業	産業廃棄物中間処理業			
	棄物・一般廃棄物の収集運搬業					
売上高	10 億	1.9 億	3.3 億			
2018年8月決算	10 15	1.9 版	J.J l态			
従業員数	25 名	9名	13名			
(配置人数)	(内 アルバイト2名	(内 アルバイト3名)	(内 アルバイト2名)			
	パートタイマー1 名を含む)					
敷地面積	41.6 m ²	2,588.78 m²	5,634.98 m			
延床面積	41.6 m²	22.68 m²	1,317.02 m			

※太枠内、エコアクション 21 相互認証適用範囲

(6) 許認可一覧と処理能力

産業廃棄物処分業 許可番号 05420010196 仙台市

有効期限 平成 29 年 12 月 15 日~令和 5 年 9 月 30 日

仙台新港エコタウン 24 第一工場の許可品目と処理能力

一次破砕	木くず	112 t /日
	繊維くず	96 t /日
粉砕機 B	木くず	67.2 t /日
移動式	がれき類	360 t /⊟
切断	廃プラスチック類	2.4 t /日
	繊維くず	7.2 t /日
破砕	金属くず	0.128 t /日
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1.872t/日
	廃プラスチック類	8.64kg/日

仙台新港エコタウン 24 第二工場の許可品目と処理能力

2 軸破砕	廃プラスチック類	39.0t/日
	紙くず	33.4t/日
	木くず	61.4t/日
	繊維くず	13.4t/日
	ゴムくず	58.1t/日
	金属くず	126.1t/日
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	111.7t/日
	がれき類	165.1t/日
破砕(コンガラ)	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1,112t/日
	がれき類	1,658t/日
	破砕(廃石膏ボード)	
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	32.0t/日
破砕溶融固化	廃プラスチック類	0.80t/日
圧縮	廃プラスチック類	8.06t/日
	紙くず	9.86t/日
	繊維くず	8.75t/日
	金属くず	7.22t/日

一般廃棄物処分業(第一工場)許可番号 仙台市(H28 環廃指)指令第 366 号

有効期限 令和2年4月1日~令和4年3月31日

一次破砕 木〈ず 112 t /日

二次破砕

粉砕機 B 木〈ず 67.2 t /日

(7) 中間処理施設の種類及び処理能力

施設の種類	仙台新港エコタウン第一工場	仙台新港エコタウン第二工場
破砕施設	 旭機械 二軸剪断機 AW-55 木くず 112 t /日(8 時間) 繊維くず 96 t /日 粉砕機 B 模型粉砕機 HM1000-W 木くず 67.2 t /日 日立建機 自走式クラッシャ HR320G-5 がれき類 360 t /日 中村総合研究所 FLC-11 金属くず 0.128 t /日 か・ラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 1.872 t /日 廃プ・ラススチック類 0.864 t /日 	中山鉄工所 NE250J ジョークラッシャー方式 か うえくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 1,112.0t/日 がれき類 1,657.6t/日 渡部工業 RECOM400 4 軸破砕・分離方式 廃石膏ボード 32.0t/日 リョーキ HB-70E 2 軸剪断型破砕方式 廃プラスチック類 39.07t/日 紙くず 33.49t/日 木くず 61.39t/日 繊維くず 13.40t/日 ゴムくず 58.04t/日 金属くず 126.13t/日 がれき類 165.19t/日 か うえくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 111.62t/日
切断施設	東海機器 KSA-M21 廃プラスチック類 2.4 t /日 繊維くず 7.2 t /日	
溶融施設		YAMANAKA RE-E502 電熱ヒーター方式 廃プラスチック類 0.80t/日
圧縮施設		サンモア X-30 油圧圧縮方式廃プ・ラスチック類8.06t/日繊維くず8.75t/日紙くず9.85t/日金属くず7.20t/日

(8) 処理実績(単位: t)

処理場	種類	2018	2019	2020	2021
					(22.2 まで)
仙公年出了方面2、24	産業廃棄物中間処理量(自社)	1,213.1	1,224	994	851.19
仙台新港エコタウン 24 第一工場	産業廃棄物中間処理量(他社)	12,358	9,644	9,940	7,188.17
- 另一上场 	一般廃棄物処理量(他社)	15.88	20	7	6.12
仙台新港エコタウン 24	産業廃棄物中間処理量(自社)	4,336.5	5,608	2,584.2	4,253
第二工場	産業廃棄物中間処理量 (他社)	51,401	33,260	46,604	34,442

(9) 処理フロー図 別紙参照

(10) 最終処分の場所、方法及び処理能力

仙台新港エコタウン 24 第一工場

最終処分先の番号	事業場の名称	所在地	処分方法	施設の処理能力
0423005189	オガワエコノス	宮城県大和町	圧縮固化固形燃料	69.84 t /日
140004746	野村興産㈱イトムカ鉱業所	北海道北見市	埋立	103.159 m²
05420010196	昭和羽前建設工業	宮城県仙台市	破砕 (燃料売	112 t /日
	仙台新港エコタウン第一工場		却)	

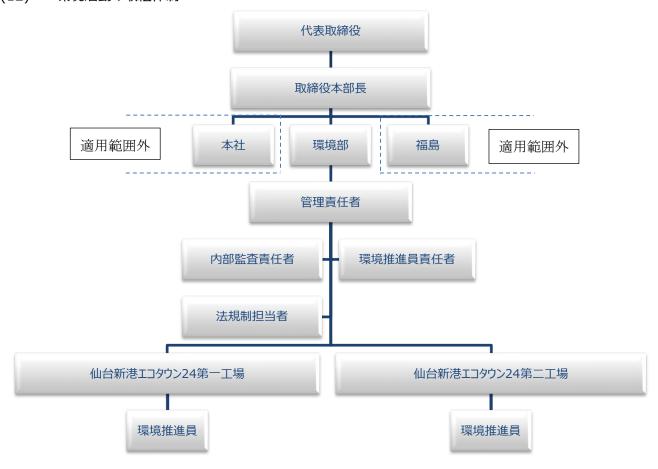
仙台新港エコタウン 24 第二工場

最終処分先の番号	事業場の名称	所在地	処分方法	施設の処理能力
00443004971	財団法人宮城県環境事業公社	宮城県大和町	埋立	10,726,000 m
05440052901	仙台環境開発	宮城県仙台市	埋立	2,114,576 m
0448013674	矢本クリーンセンター	宮城県東松島	埋立	234,840 m
0638051331	ジークライト	山形県米沢市	埋立	2,300,000 m³
0424002851	サニックス多賀城工場	宮城県多賀城市	破砕	300t/日
05620105707	中央環境開発	神奈川県横浜市	破砕	236.4t/日
01422105707		神奈川県愛甲郡	選別圧縮	166t/日
00329173183	エコテックワールド岩手	岩手県二戸市	破砕・選別・乾燥	48t/日
00920110459	祥和コーポレーション	栃木県栃木市	破砕	1,720t/日
05420010196	昭和羽前建設工業	宮城県仙台市	破砕	1,112t/日
	仙台新港エコタウン第二工場		溶融	0.80t/日

(11) 廃棄物の処理料金

単価表を参考に、処理委託廃棄物の内容により都度見積りを行う。

(12) 環境活動の取組体制



担当者·連絡先:相澤 健太郎 (TEL:022-274-0553 FAX:022-274-0771)

管理責任者 相澤 健太郎

内部監査 取締役本部長 甘木 学

環境推進員責任者 相澤 健太郎 兼任

法規制 相澤 健太郎 兼任

2. 登録対象

(1) 登録内容

みちのく EMS 登録証

登録日:2015年7月25日

登録期限: 2018年7月24日

登録番号:15005

(2) 登録範囲

産業廃棄物、特別管理産業廃棄物並びに一般廃棄物の収集運搬及び、産業廃棄物の処分(中間処理)、一般廃棄物の処分

(3) 対象事業所

中間処理施設: 仙台市宮城野区港3丁目8番9号 仙台新港エコタウン第一工場 仙台市宮城野区仙台港北2丁目10番17号 仙台新港エコタウン第二工場

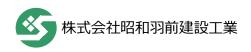
3. 環境方針

環境方針

環境を考える解体とリサイクル

- 1 解体工事を通じて地域社会の再生及び発展に携わり、発生した産業廃棄物の中間処理を通じて循環型社会に貢献します。この事業活動を通して環境保護に取り組みます。
 - 施工現場等では近隣等に与える環境影響を減少するよう努めます。
 - (ア)産業廃棄物の処理業務では再資源化率を向上させ、より環境に配慮した産業廃棄物の処理を実践します。
- 2 各業務に於いては汚染の予防を徹底し、関連する順守義務への適合を確実にします。
- 3 EMSの継続的な改善にて環境パフォーマンスの向上を確実にします。
- 4 環境保護活動を推進す<mark>る必要性を認識し、省エネルギーや資源の有</mark>効活用に努めます。環境 に配慮した製品を積極的に購入します。

令和3年4月1日



代表取締役 甘木 広志

4. 環境目的・環境目標(3か年)

	基準					目標								
目標	工場	2020年月		2021年 2021年4		2022年		2023年		部門 責任者	実施事項(日程含む)	必要な資源	達成 期限	達成確認 評価方法
		2021年3月	1	2022年2	月	2023年3	月	2024年3	月					
CO2総排出量の 削減	第1 工場	288,456.4	kg-002/4F	288,192.0	kg-002/4F	287,879.5	kg-002/4	287,591.0	kg=002/4F		【3ヶ年共通】【各工場共通】 設備の維持管理(修繕)	メンテナンス費用 人件費	今期中	バフォーマンス評価表に
基準年から 2021年度0.1%削減 2022年度0.2%削減 2023年度0.3%削減	第2 工場	319,462.8	kg-003/4	319,169.9	kg-002/4	318,823.8	kg-002/4	318,504.4	kg-002/4	【実行責任者】 第1工場 環境部長 第2工場 第2環境部長	政権の権持官権(参報/ 効率的な業務の実施(処理)	人計算 予算書参照	ラ州中	て評価
廃棄物排出量目 標(袋)の削減	第1 工場	125.0	at	113.7	枚	123.0	枚	122.0	枚	環境事業部 【統括】 取締役 統括部長 【実行責任者】	【3ヶ年共通】【各工場共通】 分別(省頂ごみと燃えるごみ)	従業員の意識 分別スペース	会期中	パフォーマンス評価表に
基準年から 2021年度1枚削減 2022年度2枚削減 2023年度3枚削減	第2 工場	132.0	ět	120.1	故	130.0	枚	129.0	故	第1工場 環境部長 第2工場 第3環境部長	分別(資源こみと然えるこみ) 袋いっぱいまで使用する		7.40™	て評価
水の使用量の削減	第1 工場	3,300.0	ų	3,024.5	mí	3,299.0	mí	3,298.5	mí	環境事業部 【統括】 取締役 統括部長 【実行責任者】	【3ヶ年共通】 【第1工場】 スプリンクラーによる節水散水	従業員の意識	今期中	パフォーマンス評価表に
基準年から 2021年度0.5㎡ 2022年度1.0㎡ 2023年度1.5㎡	第2 工場	1,521.5	m	1,394.3	mi	1,520.5	mí	1,520.0	mi	第1工場 環境部長 第2工場 第2環境部長	【第2工場】 ハイワッシャーの活用	使乗員の意識	7.80	て評価
再資源化率	第1 工場	96.3%	96	88.7%	96	97.3%	96	97.8%	%	環境事業部 【統括】 取締役 統括部長	【3ヶ年共通】 【第1工場】 前処理の徹底 設備の維持管理	従業員の意識	A##-	パフォーマンス評価表に
基準キから 2021年度0.5%増加 2022年度1.0%増加 2023年度1.5%増加	第2 工場	83.0%	96	76.5%	96	84.0%	96	84.5%	96	【実行責任者】 第1工場 環境部長 第2工場 第2環境部長	(第2工場) 分別の徹底 抹出事業者に分別廃棄の推奨	設備の維持費	今期中	て評価

^{※2021} 年度のみ環境報告書作成対象期間と合わせるため、2022 年 2 月までの環境目的・目標を記載する。

5. 実績と具体的活動の評価

目標	工場	2021 年度 2021年4月 ~ 2022年2月		2021 年 4 月〜2 月 までの実績			評価
CO2 総排出量の削減 基準年から	第 1 工場	288,192.0	kg-CO2/年	206,256.5	kg-CO2/年	達成中	効率的な処理の実践にて 達成できている。
2021 年度 0.1%削減 2022 年度 0.2%削減 2023 年度 0.3%削減	第 2 工場	319,169.9	kg-CO3/年	245,916	kg-CO3/年	達成中	搬入量の増加に伴い若干 の使用増加傾向はあるが 達成維持ができている。
廃棄物排出量目標(袋)の削減 基準年から	第 1 工場	113.7	枚	113	枚	達成中	袋はいっぱいになるまで廃棄しないことと資源ごみは資源として分別した結果がでた。
2021 年度 1 枚削減 2022 年度 2 枚削減 2023 年度 3 枚削減	第 2 工場	120.1	枚	111	枚	達成中	袋はいっぱいになるまで廃棄しないことと資源ごみは資源として分別した結果がでた。
水の使用量の削減 基準年から	第 1 工場	3,024.5	m	2,835.0	m	達成中	粉塵対策のための散水によ る使用が主体であった。
2021 年度 0.5 ㎡ 2022 年度 1.0 ㎡ 2023 年度 1.5 ㎡	第 2 工場	1,394.3	m³	1,917.0	m	未達	粉塵対策のための散水によ る使用が主体であった。
再資源化率 ^{基準年から}	第 1 工場	88.7%	%	98.3	%	達成中	分別廃棄の徹底を依頼し ており高い再資源化率を維 持できた。
2021 年度 0.5%增加 2022 年度 1.0%增加 2023 年度 1.5%增加	第 2 工場	76.5%	%	82.38	%	達成中	構内での粗選別にて再資 源化率は維持できている。

^{※2021} 年度のみ環境報告書作成対象期間と合わせるため、2022 年 2 月までの目標・実績を記載する。

6. 今後の課題

目標	工場	今後の取り組み
CO2 総排出量の削減	第1	3 月までの目標を達成できるように活動を継続していく
基準年から	工場	各自防寒対策を行い CO2 排出抑制に努力していく
2021 年度 0.1%削減	<i>**</i> 2	2.ロナスの口標をときがフナストンにできたが吹きしていく
2022 年度 0.2%削減	第2	3 月までの目標を達成できるように活動を継続していく
2023 年度 0.3%削減	工場	各自防寒対策を行い CO2 排出抑制に努力していく
廃棄物排出量目標(袋)の削減	第1	
基準年から	工場	3 月までの目標を達成できるように活動を継続していく
2021 年度 1 枚削減		
2022 年度 2 枚削減	第2	3 月までの目標を達成できるように活動を継続していく
2023 年度 3 枚削減	工場	
水の使用量の削減	第1	3 月までの目標を達成できるように活動を継続していく
基準年から	工場	土間の凍結に注意しながら粉塵対策として散水していく
2021 年度 0.5 ㎡		
2022 年度 1.0 ㎡	第2	3 月までの目標を達成できるように活動を継続していく
2023 年度 1.5 ㎡	工場	土間の凍結に注意しながら粉塵対策として散水していく
再資源化率	第1	
基準年から	工場	3 月までの目標を達成できるように活動を継続していく
2021 年度 0.5%増加		
2022 年度 1.0%增加	第2	3 月までの目標を達成できるように活動を継続していく
2023 年度 1.5%增加	工場	2 / 20 C 3 A M. C. 200 / 1.2 A 2 A 2 A 2 A 2 A 2 A 2 A 2 A 2 A 2 A

7. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し評価の結果、違反は無かった。また関係機関等からの違反の指摘・苦情・訴訟は無かった。

法令順守規定

法律その他の規制一覧表

承認 評価者 2021/6/24 2021/6/24

対象 仙台新港エコタウン 24 第一工場 評価日 2021 年 6 月 24 日

調査更新日:2021年4月1日

h17 -1 - 21 - 21 -	÷ 4	the blanks of		3:2021年4月1日
順守義務	適用条件	実施事項	評価	指摘•備考
	中間処理施設の営業許可	仙台市長に届け出、許可申請	'	
		木くず: 処理前 836.409 ト 。 処理後 512.47 ト 。		
	施設の運営 木くず、繊維くず、カラスく	畳: 処理前 20.2 m³ 処理後 8 m³	V	
	ず及び陶磁器	蛍光管: 処理前 4.8 ㎡ 処理後 200L		
	保管用量以下の保管であ	トラム缶:3本		
廃棄物	ること	保管場所設置看板表示内容、看板の大きさ(縦横 60cm以上)	/	
処理法		積み上げ高さの厳守、雨、風、悪臭発生に対する養生	V	
	指定破棄物の受入	委託処理契約書の締結(排出事業者と)	/	
	産業廃棄物 木くず、繊維くず、ガラスくず	マニフェストの返送状況		
	及び陶磁器	B2 票(排出業者に送付)、C2 票(収集運搬業者に送付)	V	
	一般廃棄物	D票(排出業者に送付)、E票(排出業者に送付)		
	木くず	C1 票(処分業者保存)		
家電	特定家庭用機器 テレビ(液晶・プラズマ含)、エアコン、電気	指定業者による廃棄	V	
リサイクル法	冷蔵庫及び冷凍庫、電気洗濯機	11/2/X 11 1-00 0/12/X		
小型家電	小型電子機器 パソコン、携帯電話、デジタルカメラ、CDプ	指定業者による廃棄	V	
リサイクル法	レーヤー等々		1	
優良産廃処理 業者制度運用	優良産廃処理業者	みちのく EMS の維持(相互)	V	
マニュアル	認定	公開情報の確認による処分状況の確認	1 1	
オフロート゛	バックホウの使用	・適合証明・平成18年4月施行前販売証明・「2011年規	V	
法	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	制」新車規制で平成23年10月以降		
フロン排出	エアコン付きバックホウの使用	簡易点検 点検記録の保管	'	
抑制法	エアコンの使用	年1回の点検実施 点検記録の保管	V	
	少量危険物の貯蔵・取扱の基 準:第2石油類 灯油等:1000	指定数量以下の保管(灯油)	V	
消防法	指定可燃物の貯蔵・取扱の基	消防長(消防署長)に届け出		
	準:木材加工品及び木くず:10 m3 以上等	・指定可燃物の貯蔵・取扱時の管理	'	
高圧がス	高圧ガスポンベ使用	### FT FT		
保安法	内容積 20以下ボンベやコンプレッ サー内ボンベなどは除く	転倒防止	'	
計量法	トラックスケール(40 トン)	校正•点検	~	
	囲い等	立入防止•施錠	~	
	表示	受入品目の表示、処理能力の表示	~	
	飛散·流出防止	飛散防止ネットの設置、油水分離槽の設置	~	
	悪臭防止	悪臭防止対策	~	
	騒音振動粉じん防止	間仕切り、集塵機の設置	~	
,, , ,	衛生害虫の防止	防虫剤等の散布	V	
仙台市	火災発生の防止	消火器設置、貯水層、散水機等の点検整備	V	
産業廃棄	事故の防止	循環監視、点検	V	
物処理施	異常事態時の措置	緊急事態の対応手順の整備	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
設維持管	使用道路の安全確			
理基準	保	工場周辺の使用道路の清掃	'	
	搬入時の産業廃棄		+ +	
	物の確認	受入時の受入物の確認	'	
	作業時間	作業時間の決定 8 時~17 時	V	
	維持管理計画の作			
	成	設備の点検計画の作成	V	
八宝叶山桥	集水桝の設置	集水桝の設置、維持管理	V	
公害防止協 定(仙台市)	油水分離槽の設置	油水分離槽の設置、維持管理	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
, (III II)	出荷先の要望の順	1H/ハル門は「H/八 B/H/ B/H/ B/H/ B/H/ B/H/ B/H/ B/H/ B	+ +	
出荷基準	日何元の安全の順 日守	処理物の出荷基準(顧客受け入れ基準)の順守状況	V	
送 收六还冲	車の使用		+	
道路交通法		車検、違反のないこと 適切な保護具の着用	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
必無少人	危険を伴う作業	- 週別は体で長り有用	'	
労働安全	最大荷重15以上の	フォークリフト運転技能講習	ا ما	
衛生法	フォークリフトの運転業	特定自主検査、月例、始業前点検の実施、ヘルメット着用	'	
	務			

法律その他の規制一覧表

承認評価者2021/6/242021/6/24

対象 仙台新港エコタウン 24 第二工場

評価日

2021年6月24日

調査更新日:2021年6月1日

阳宁子子	· 本田夕/止	字按声道		T日:2021 年 6 月 1 日 地域 / 農業
順守義務	適用条件	実施事項	評価	指摘·備考
	中間処理施設の営業許可	仙台市長に届け出、許可申請 木<ず:処理前5.2 ㎡ 処理後 10.4 ㎡	✓	
rice de Ma	施設の運営 木くず、繊維くず、ガラスく ず及び陶磁器、コンガラ 廃プラスチック類、紙くず 焼びず、がれき類、アスファ ルト	木くず: 処理前 5.2 ㎡ 処理後 10.4 ㎡ 繊維くず・廃プラ・紙くず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず: 処理前 80 ㎡ 処理後 40.4 ㎡ ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず: 処理前 21 ㎡ 処理後 16.2 ㎡ コンクリートくず: 処理前 682.4 ㎡ 処理後 846.5 ㎡ アスファルト: 処理前 10 ㎡ 処理後 5 ㎡ 紙くず・廃プラ・繊維くず・金属くず: 処理前 10.4 ㎡ 処理後 40 ㎡ 廃プラ・処理前 4.4 ㎡ 処理後 8.1 ㎡	1	
廃棄物 処理法	保管用量以下の保管であること	保管場所設置看板表示内容、看板の大きさ(縦横 60cm以上)	/	
尼生仏	200	積み上げ高さの厳守、雨、風、悪臭発生に対する養生	/	
	指定破棄物の受入	委託処理契約書の締結(排出事業者と)	/	
	産業廃棄物 木くず、繊維くず、ガラスく ず及び陶磁器、コンガラ 廃プラスチック類、紙くず 鉄くず、がれき類、アスファ ルト	マニフェストの返送状況 B2 票(排出業者に送付)、C2 票(収集運搬業者に送付) D 票(排出業者に送付)、E 票(排出業者に送付) C1 票(処分業者保存)	1	
家電 リサイクル法	特定家庭用機器 テレピ(液晶・プラズ・含)、エアコン、電気 冷蔵庫及び冷凍庫、電気洗濯機	指定業者による廃棄	/	
小型家電 リサイクル法	小型電子機器 パソコン、携帯電話、デジタルカメラ、CDプ レーヤー等々	指定業者による廃棄	1	
優良産廃処 理業者制度 運用マニュアル	優良産廃処理業者 認定	みちのくEMS の維持(相互) 公開情報の確認による処分状況の確認	1	
オフロート・法	バックホウの使用	・適合証明・平成 18 年 4 月施行前販売証明・「2011 年規制」新車規制で 平成 23 年 10 月以降	1	
フロン排出抑	ェアコン付きバックホウの使用	簡易点検 点検記録の保管	✓	
制法	エアコンの使用	年1回の点検実施 点検記録の保管	✓	
消防法	少量危険物の貯蔵・取扱の基 準:第2石油類 灯油等:1000 指定可燃物の貯蔵・取扱の基	指定数量以下の保管(灯油)	1	
THENTA	準:木材加工品及び木くず:10 m3以上等	消防長(消防署長)に届け出 ・指定可燃物の貯蔵・取扱時の管理	1	
高圧ガス保 安法	高圧ガスボンベ使用 内容積 20以下ボンベやコンプレッ サー内ボンベなどは除く	転倒防止	1	
計量法	トラックスケール(40 トン)	校正·点検	✓	
	囲い等	立入防止·施錠	✓	
	表示	受入品目の表示、処理能力の表示	✓	
	飛散·流出防止	飛散防止ネットの設置、油水分離槽の設置	✓	
	悪臭防止	悪臭防止対策	✓	
	騒音振動粉じん防止	間仕切り、集塵機の設置	✓	
仙台市 産業廃棄物	衛生害虫の防止	防虫剤等の散布	✓	
性未廃果物 処理施設維	火災発生の防止	消火器設置、貯水層、散水機等の点検整備	✓	
持管理基準	事故の防止	循環監視、点検	✓	
	異常事態時の措置	緊急事態の対応手順の整備	✓	
	使用道路の安全確保	工場周辺の使用道路の清掃	✓	
	搬入時の産業廃棄物の確認	受入時の受入物の確認	✓	
	作業時間	作業時間の決定 8 時~17 時	✓	
	維持管理計画の作成	設備の点検計画の作成	✓	
公害防止協	集水桝の設置	集水桝の設置、維持管理	✓	
定(仙台市)	油水分離槽の設置	油水分離槽の設置、維持管理	✓	
出荷基準	出荷先の要望の順守	処理物の出荷基準(顧客受け入れ基準)の順守状況	1	
道路交通法	車の使用	車検、違反のないこと	✓	
労働安全衛	危険を伴う作業	適切な保護具の着用	1	
生法クレーン等安	最大荷重1 ^ト ン以上のフォークリフト の運転業務	フォー切り、運転技能講習 特定自主検査、月例、始業前点検の実施、ヘルメット着用	1	
クレーン寺女 全規則 粉塵障害防	ケレーンの使用	定期点検、始業前点検の実施	1	
が歴障者的 止規則	粉塵作業	集塵機、防塵マスクの着用	✓	

8. 内部監査・外部監査の報告

① 内部監査

実施日: 2021年6月24日

範囲 : 仙台新港エコタウン第一工場、第二工場

チーム編成: 内部監査員 2 名 ※みちのく EMS 内部監査員養成講座修了

結果報告:不適合0件 改善事項1件(2021年6月24日是正処置)

② 外部審査

実施日: 2021年 7月19日

範囲 : 仙台新港エコタウン第一工場、仙台新港エコタウン第二工場

更新審査

結果報告:不適合0件 改善事項0件 観察事項0件 推奨事項1件

9. 最高責任者による全体の評価見直しの結果

全体評価

システムの構築は、全般的にスムーズに運用され、現時点では見直す点は無い。2021 年度も継続し、環境負荷低減 に向けて推進する事。

見直し評価

現在の活動を継続していく。

10. コミュニケーション

仙台市環境局清掃活動

仙台港地区企業合同クリーン活動 7月

以上